

長野地方気象台より情報提供

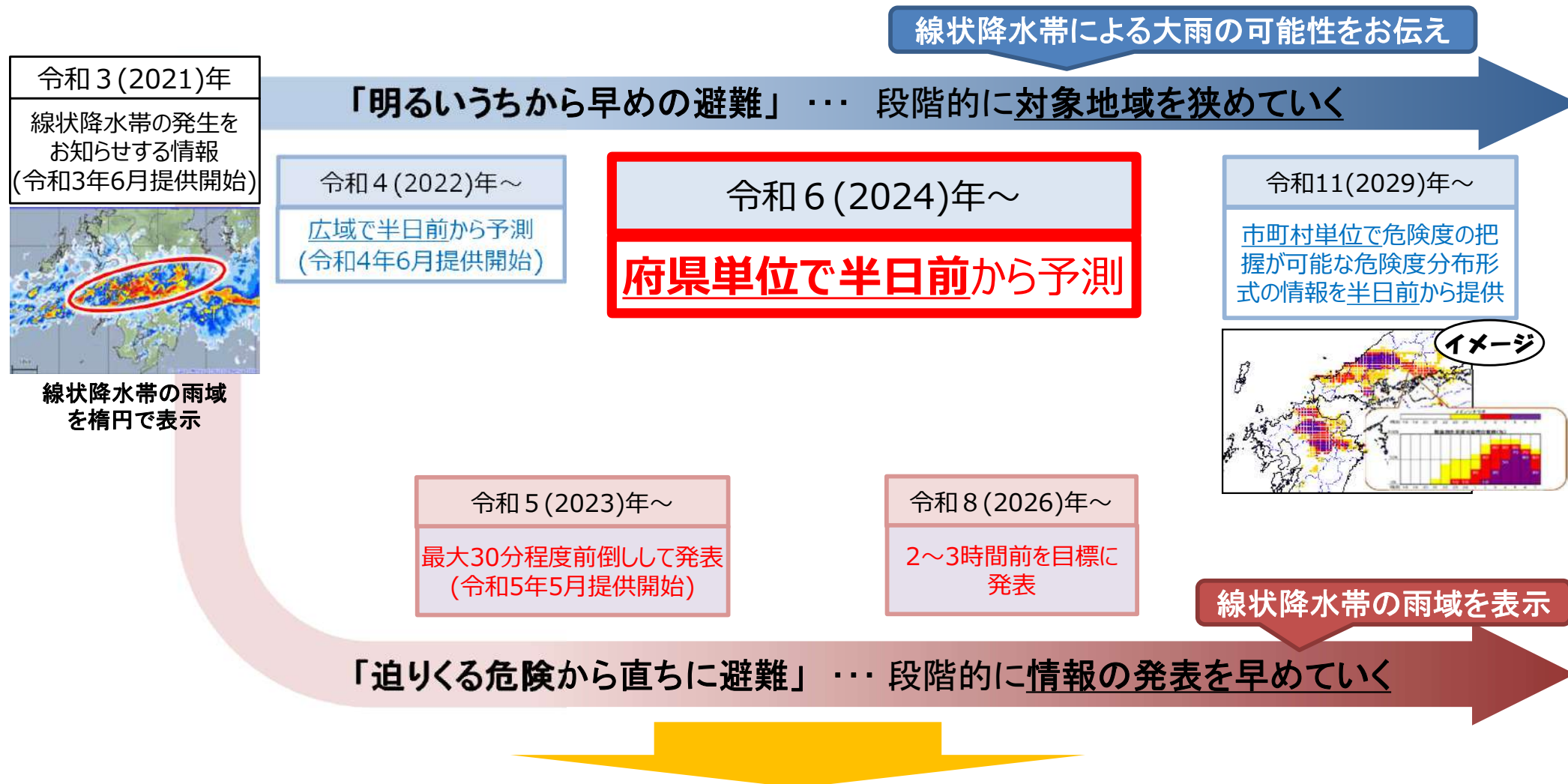
線状降水帯による大雨について
半日程度前から**府県単位**での呼びかけを開始します

令和6年5月
長野地方気象台

線状降水帯の予測精度向上に向けた取組(情報の改善)

令和4年6月より、線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけを開始
令和5年5月より、「顕著な大雨に関する気象情報」(線状降水帯の発生をお知らせする情報)を
これまでより最大30分程度前倒して発表する運用を開始。

令和6年度からは、半日程度前からの呼びかけを「府県単位」で実施します(開始時期は後日公開予定)。



国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく

令和6年から開始する府県単位での呼びかけ（地方／府県気象情報）



大雨に関する**関東甲信地方**気象情報 第〇号
〇年〇月〇日〇〇時〇〇分 気象庁発表

<見出し>

関東甲信地方では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生
の危険度が急激に高まる可能性があります。

<本文>

…（中略）…

大雨に関する**関東甲信地方**気象情報 第〇号
〇年〇月〇日〇〇時〇〇分 気象庁発表

<見出し>

長野県では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生
の危険度が急激に高まる可能性があります。

<本文>

…（中略）…

府県気象情報

大雨に関する**長野県**気象情報 第〇号
〇年〇月〇日〇〇時〇〇分 長野地方気象台発表

<見出し>

関東甲信地方では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生
の危険度が急激に高まる可能性があります。

<本文>

…（中略）…

大雨に関する**長野県**気象情報 第〇号
〇年〇月〇日〇〇時〇〇分 長野地方気象台発表

<見出し>

長野県では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生
の危険度が急激に高まる可能性があります。

<本文>

…（中略）…

対象とならない県では、府県気象情報においての
呼びかけをしない。

令和6年から開始する府県単位での呼びかけ（全般気象情報）

これまで

これから

全般気象情報

（見出し）

強い台風第7号は、15日は近畿地方から東海地方にかなり接近し、上陸するおそれがあります。東日本や西日本では、暴風、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒し、高波に警戒してください。また、西日本では高潮に厳重に警戒してください。近畿地方では14日午後から15日午後にかけて、東海地方では14日午後から15日夜にかけて、関東甲信地方では14日夜から15日午前中にかけて、四国地方では14日夜から15日午後にかけて、中国地方では15日午前中から15日午後にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性があります。

（本文）

…

<大雨・雷・突風>

（中略）

15日12時までの24時間に予想される雨量は、多い所で、
東海地方 400ミリ

…

16日12時までの24時間に予想される雨量は、多い所で、
東海地方 300から400ミリ

…の見込みです。

線状降水帯が発生した場合は、局地的にさらに雨量が増えるおそれがあります。

（中略）

（見出し）

強い台風第7号は、15日は近畿地方から東海地方にかなり接近し、上陸するおそれがあります。東日本や西日本では、暴風、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒し、高波に警戒してください。また、西日本では高潮に厳重に警戒してください。既に線状降水帯が発生しやすい状況となっている地域や今後線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性がある地域があります。

（本文）

…

<大雨・雷・突風>

（中略）

15日12時までの24時間に予想される雨量は、多い所で、
東海地方 400ミリ

…

16日12時までの24時間に予想される雨量は、多い所で、
東海地方 300から400ミリ

…の見込みです。

線状降水帯が発生した場合は、局地的にさらに雨量が増えるおそれがあります。

また、今後線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性のある地域は、

東海地方 14日午後から15日夜にかけて
岐阜県、三重県

近畿地方 14日午後から15日午後にかけて
滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

関東甲信地方 14日夜から15日午前中にかけて
神奈川県、長野県、山梨県

中国地方 14日夜から15日午後にかけて
鳥取県、島根県、岡山県

四国地方 14日夜にかけて
徳島県

です。

（中略）

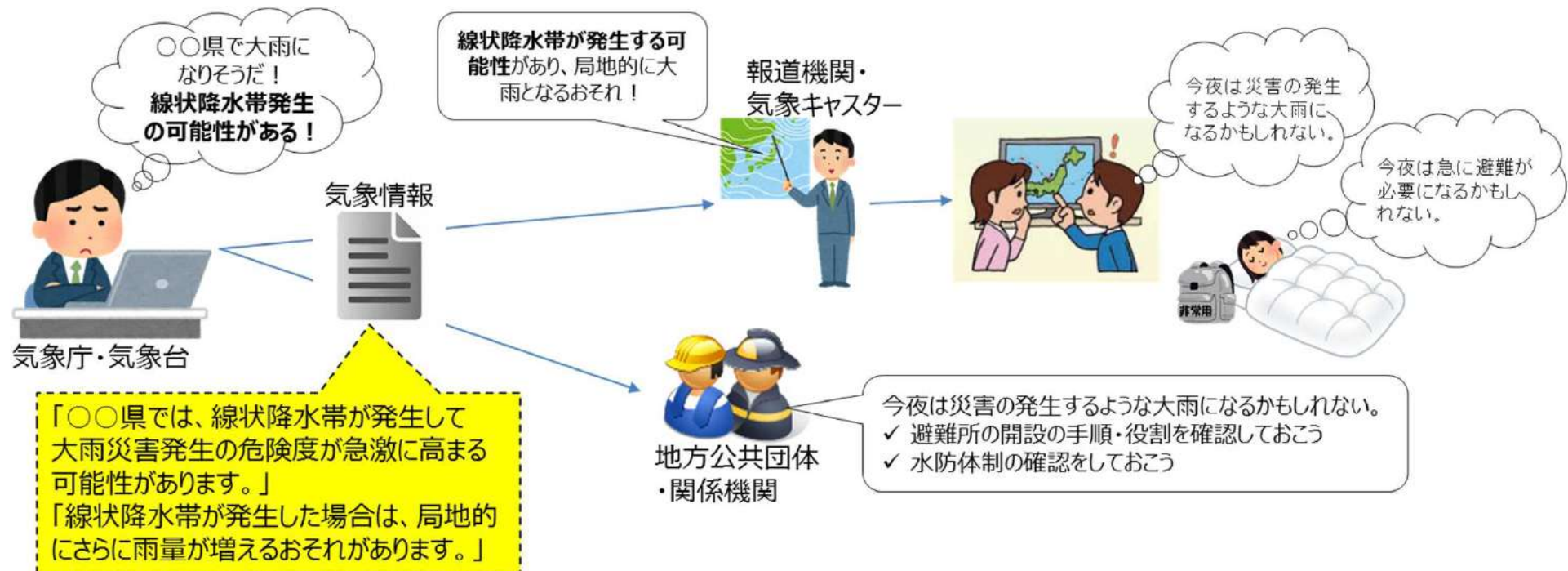
絞り込んで発表
対象地域を

線状降水帯による大雨災害の
危険度が急激に高まる可能性
のある期間を明確化

呼びかけが行われた時の対応例

府県単位で呼びかけを行います、
これまでと対応を変える必要はありません。

- 線状降水帯が発生すると、大雨災害発生の危険度が急激に高まることもあるため、心構えを一段高めていただくことを目的としています。この呼びかけだけで避難を促すわけではなく、ほかの大雨に関する情報と合わせてご活用ください。
- **市町村**の防災担当の皆さまには、避難所開設の手順や水防体制の確認等、災害に備えていただくことが考えられます。
- **住民**の方々には、大雨災害に対する危機感を早めにもっていただき、ハザードマップや避難所・避難経路の確認等を行っていただくことが考えられます。

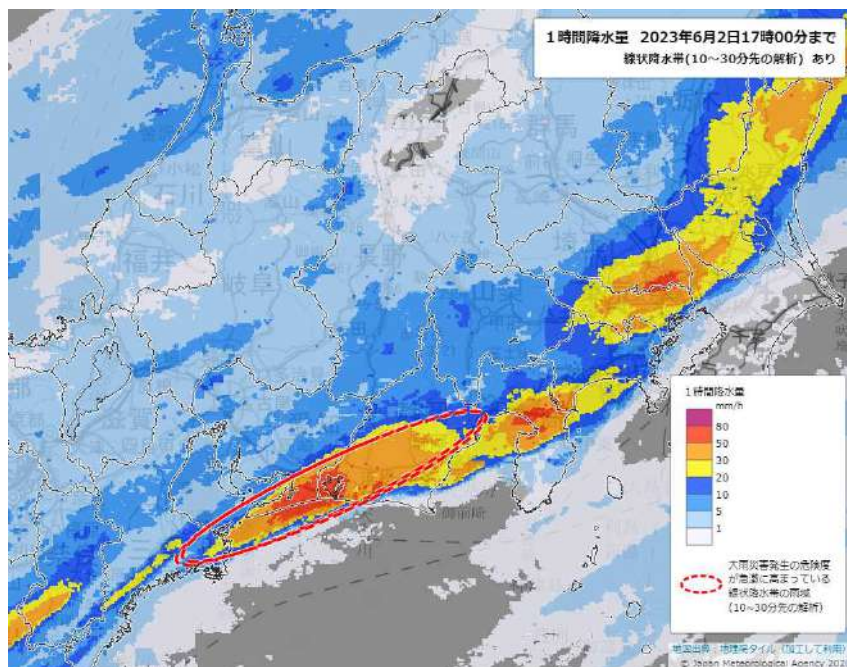


線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけや「顕著な大雨に関する気象情報」といった線状降水帯に関する情報だけでなく、大雨警報やキキクル（危険度分布）等、段階的に発表する防災気象情報全体を適切に活用することが重要です。

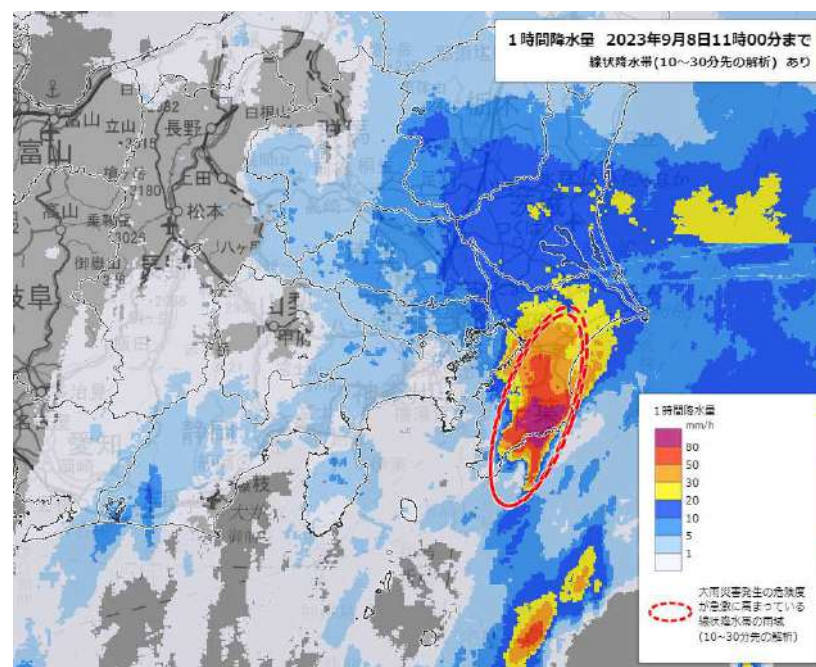
令和5年度 線状降水帯の発生状況

- ・令和5年度、長野県内で線状降水帯は発生しませんでした。
- ・6月2～3日、8月15日、9月8日を対象に「関東甲信地方」で線状降水帯が発生する可能性を呼び掛けました。
- ・令和5年6月2日には、長野県に近い静岡県で線状降水帯が発生し、長野県でも南部を中心に激しい雨が降り、大雨・洪水警報を発表しています。

(6/2～6/4にかけ「**天竜川上流氾濫注意情報**」を発表)



2023年6月2日の線状降水帯(静岡県)



2023年9月8日の線状降水帯(千葉県)